

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会  
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第11号）」について（送付）.

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第11号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ（以下 URL）にも随時公開しています。  
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00323270/index.html>

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R2 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R2 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R2 (hr)	平年比 (%)
7月	1	25.2	23.6	-1.6	29.2	28.1	-1.1	22.1	20.5	-1.6	81.6	16.5	20	18.8	18.1	96
	2	25.9	24.6	-1.3	30.1	27.3	-2.8	22.8	21.9	-0.9	68.8	541.0	786	22.8	9.3	41
	3	26.6	24.1	-2.5	30.9	26.9	-4.0	23.3	21.9	-1.4	58.3	57.5	99	25.5	2.0	8
	4	27.1	25.7	-1.4	31.7	30.5	-1.2	23.7	22.5	-1.2	48.5	16.5	34	28.7	32.9	115
	5	27.5			32.4			23.9			39.2			32.9		
	6	27.8			32.9			24.1			36.3			42.8		

- 7月にはいり気温は、平年に比べて1～2℃ほど低く推移している。
- 7月3日から13日ぶりの晴天となり、7月4半月の日照時間は平年に比べ115%となった。
- 梅雨入り後の50mm以上の降雨量が観測された日は以下のとおり。  
6/18～19（65mm）、6/25～27（189.5mm）7/6～7（354.5mm）、7/9～11（192mm）。

2. 情報田生育概況（調査日：7月20日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
夢しすく 6/14移植 武雄市橋町	本年値	61.3	357	10.3	40.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は平年並み、茎数は平年より少ない。（茎数19本/株）</li> <li>主幹出葉数は平年並み。</li> <li>葉色は平年よりやや濃い。</li> <li>節間長3mm、幼穂未確認</li> <li>軽め中干し：7/17～21</li> </ul>
	平年値	62.6	382	10.4	40.5	
	平年比	98	93	-0.1	+0.3	
さがびより 6/20移植 武雄市橋町	本年値	45.2	339	9.7	41.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は平年並み、茎数は少ない。</li> <li>主幹出葉数は平年並み。</li> <li>葉色は平年並み。</li> <li>移植15,25日後の落水実施済み。</li> </ul>
	平年値	45.3	376	9.7	41.9	
	平年比	100	90	±0.0	-0.1	

※夢しすくの平年値はH21～R1の平均値、耕種概要は稲作情報No7参照

※さがびよりの平年値はH21～R1の平均値、耕種概要は稲作情報No9参照

### 3. 管内の生育状況（7月21日時点）

1) セタコシヒカリ：現在、糊熟期となっている。

出穂後の気温が低く日照不足で推移しているため登熟は緩やかである。

2) 夢しずく（山間早植え）：5月下旬移植夢しずくで穂孕期である。

《参考》管内における夢しずく生育状況：7/20時点

移植時期（市町）	生育ステージ	備考
5/23 移植（北方町）	穂孕み期	葉耳間長 - 3～+ 5 cm

3) 夢しずく（普通期）：現在、穂首分化期～幼穂形成始期である。移植後の日照不足の影響を受けて、全般的に軟弱徒長ぎみで茎数は少ない。

《参考》管内における夢しずく生育状況：7/20時点

移植時期（市町）	生育ステージ	備考
6/10 移植（若木町）	幼穂形成期	幼穂長 2mm、節間長 3 cm
6/10 移植（白石町）	幼穂形成始期前	幼穂長未確認、節間長 1.5 cm

4) ヒノヒカリ・さがびより：現在、分けつ盛期である。夢しずく同様に多雨日照不足の影響で、情報田のデータは同等であるが、全般的に草丈は高く茎数は少なく、軟弱徒長の生育である。

### 4. 今後の管理

#### 1) セタコシヒカリ

##### (1) 水管理

「コシヒカリ」は、糊熟期です。出穂期以後の水管理は、根への酸素供給を図るためにも常時湛水するのではなく間断灌水（潤土管理）を行う。登熟（米の充実）を良くするため、収穫1週間前までは黒乾～湿潤状態を保つ。

#### 2) 山間早植え水稻（主に夢しずく）

- ・幼穂形成期から出穂期にかけては要水量が増加する時期ですが、湛水状態を長く行うと田面がやわらかくなることと根を傷めるので引き続き間断灌水を行う。ただし、穂孕み期から出穂期は浅水管理に努める。
- ・本年は山間早植え水稻において「いもち病」が確認されているので、発生状況等によっては臨機防除を行う。

#### 3) 夢しずく（普通期）

○6月中旬に移植された夢しずくは、まもなく幼穂形成始期を迎え穂肥施用時期となる。

穂肥の施用に際しては、下記の穂肥診断基準に基づいて適期適量施用する。

夢しずくは、幼穂が1～2mmになるまでは伸長が緩慢ですが、3mm以上になると急激に伸長することから、穂肥の施用が遅れないように注意する。

##### 【夢しずくの穂肥診断基準】

草丈 cm 幼穂形成始期時	葉 色		穂肥施用時期			
	群 落	SPAD	出穂前	幼穂長	穂肥施用量 (N成分:kg/10a)	
7.3 cm 以下	淡い	3.0 以下	34 以下	20～22 日	1mm	2.0kg/10a
	標準	3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.5kg/10a
7.3 cm ～ 7.9 cm	濃い	3.8 以上	39 以上	穂肥は施用しない		
	標準	3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.0kg/10a
8.0 cm 以上	濃い	3.6 以上	39 以上	穂肥は施用しない		
	穂肥は施用しない					

#### 4) 普通期水稻

- ・7月に入り気温は低く日照不足の影響もあって出葉展開が緩やかとなっている。
- ・水管理は、移植後の連続降雨により常時湛水した圃場ではガス（湧き）の発生が目立っている。ガス（湧き）がみられれば風のない穏やかな日に時々落水する。（移植25日の落水処理）特に、足を踏み入れずに自然に気泡が出るようであれば直ちに落水する。
- ・置き苗に葉いもち病の病斑を確認しているため、すみやかに除去する。

常時湛水状態では、稲の株元が黒くなり  
土壌表面に細い根が浮き出ている  
（上根）→1～2日程度落水処理を行い、  
酸素供給する。



- ・移植後の長雨曇天の影響を受けて、生育は全般的に茎数不足で推移している。現在、水管理は間断灌水であるが、そのまま落水期間を徐々に長めにとりながら中干し作業に移行する。ただし、有効茎歩合（1株あたり20本目安）確保できていない場合は、強めの中干しを控え、幼穂形成期までに軽めの中干しとするなど、茎数の確保に努める。

「夢しずく」においては、倒伏防止のために株元の土を固める必要があり、黒乾（1cmの割れ）程度の中干しを行う。ただし、6月中旬移植の夢しずくはまもなく幼穂形成始期をむかえるため、遅くとも7月25日までには中干し作業を完了する。



なお、中干し作業に移行する際の草丈の目安は、「夢しずく」が45～55cm、「ヒノヒカリ」及び「さがびより」は40～50cmの間である。中干し期間は5～7日天候や土壌の種類、漏水の程度などによって変わってきますが、圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらいです。

つまり「歩いて足跡が付くが抵抗なく歩ける硬さ」が理想。

本年は全般的に茎数が少ないため、手のひらが縦にはいるようなヒビ（強い中干し）は、強い断根を伴い稲にとってダメージが大きくなるので避ける。

#### 軽めの中干し（黒乾状態）

土壌表面に小さなヒビが入るくらい  
また、歩いて足跡が軽くつくが、抵抗なく歩ける硬さ。

写真は、情報田（夢しずく）圃場を撮影。



### (3) 病害虫の発生状況

#### 1) いもち病

##### 【山間早期水稲】

- ・葉いもちの発生がみられる圃場では、穂ばらみ期の防除を徹底するとともに、発生が多いと予想される場合には穂揃い期にも防除を行う。

##### 【普通期水稲】

- ・圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」や「ごま葉枯病」の床になるため、すみやかに除去する。
- ・いもち病は、葉色が濃い圃場で病斑（進展型病斑）を確認している。特に、風により茎葉の損傷や稲体の活力低下なども加わっているため、葉いもち発生に注意して観察し進展型病斑が認められれば臨機防除を実施する。
- ・葉いもちの発生に注意して観察し、進展型病斑が認められれば早急に臨機防除を実施する。その場合、オリブライト粒剤等を使用する（ただし農薬適用に留意する）
- ・窒素過多は発生を助長するので、適切な肥培管理を行なう。



葉いもち病の病斑  
葉色が濃い圃場にて確認

#### 2) ウンカ類・コブノメイガ

- ・『病害虫発生予察注意報（トビイロウンカ）』及び『病害虫発生予察注意報（コブノメイガ）』が令和2年7月22日付けで発表された。（別紙病害虫発生予察注意報 第2号、第3号参照）
- 本年は、6月10～15日頃、5月25～28日頃、7月6日～11日頃を中心にトビイロウンカが断続的に飛来し、県内のライトトラップでの6月1日～7月25日までの総捕獲数は10年間の中で最も多い。なお、最新データは、佐賀県農業技術防除センターHP等を参照する。
- ・今後の飛来状況や圃場の発生状況（移植時期や品種、箱施用剤の種類、施用の有無、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量や増殖率が異なるため、ひきつづき圃場での発生状況に注意する。また、コブノメイガの発生状況も考慮し、効率的かつ効果的な防除対策を講じる。

#### 杵島管内におけるウンカ類の払い落とし調査(R2)

25株はらい落とし総数

調査日	セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		備考
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
7月21日							
6月10日移植	0	0	0	0	0	0	夢しずく(白石町) ※ピメロジン(フェス剤)
6月13日移植	0	0	0	0	0	0	夢しずく(江北町) ※トリフルメゾピリム(播種同時)
6月14日移植	0	0	0	0	0	0	夢しずく情報田 ※トリフルメゾピリム
6月20日移植	0	0	0	0	0	0	さがびより情報田 ※トリフルメゾピリム
6月下旬移植	0	1	0	0	0	0	さがびより(白石町) ※トリフルメゾピリム
6月中旬移植	65	0	2	0	21	0	夢しずく(無処理) 幼虫はほとんど中令

※7/21 現地巡回調査では成虫はすべて長翅型。

参考に箱施薬剤無施用の圃場では、ほとんどが中令幼虫であり、6/27頃飛来虫の第1世代と想定できる。

#### ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	: 真横
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	: 真横～やや斜め後ろ
ヒメトビウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色 (体側の色が濃い場合あり)	: 斜め後ろ